

都道府県名	青森県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	鱒ヶ沢町立舞戸小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	2	1	1	1	2	0	223	13
児童数	30	48	32	39	33	41	0	223	

研究の概要

1. 研究主題

主体的に学習に取り組む子どもを育てるための指導法の研究
～ 個に応じた算数科の指導を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数
本校児童の実態，及び，校内研究におけるこれまでの取り組み，教科の特質を踏まえ，全学年で算数科に取り組むこととした。

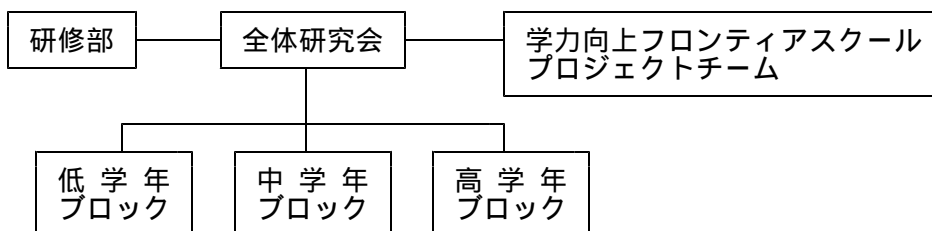
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 主体的に学習に取り組む子どもを育てるための指導法の研究 ～ 個に応じた算数科の指導を通して～</p> <p>研究の見通し（仮説） 算数科において，個に応じたきめ細かな指導を工夫し，基礎・基本を身につけさせ，学ぶ楽しさ，充実感を味わわせることによって，意欲が高まり，主体的に学習に取り組む子どもが育つ。</p> <p>研究内容 理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導についての研究</p> <p>ア）協力的な指導のあり方について ・ チーム・ティーチングにおけるT1，T2の役割や指導のあり方，協力体制の整備等 ・ 課題別学習や習熟度別学習，個別学習等，協力的な指導方法の工夫・改善</p> <p>イ）学習過程における指導と評価の一体化について ・ 効率的で，的確な評価の方法 ・ 評価に基づいた適切な学習指導・支援のあり方</p> <p>ウ）個別指導の必要な児童への指導体制の充実について ・ 授業における個別指導のあり方 ・ 学習支援センターにおける，補充的，及び，発展的な指導のあり方とその運営方法</p> <p>学ぶ楽しさを実感させ，学習意欲を高める指導についての研究</p> <p>ア）学習への意欲の喚起と高揚を図る指導について ・ 学習意欲を高めるための指導法の工夫・改善 ・ 基礎・基本の確実な定着を図るための指導法の工夫・改善</p> <p>イ）算数的活動や問題解決的な学習の工夫について ・ 学ぶ楽しさを味わわせるとともに，学習内容の本質が理解できるような算数的活動 ・ 問題解決的な学習のための，学習過程のあり方と指導法について</p> <p>ウ）児童の自己評価や相互評価を生かした学習の工夫について ・ 自己評価，及び，相互評価の方法 ・ 自己評価，相互評価を学習に生かした学習指導法</p> <p>研究方法 校内研究における授業研究，及び，理論研究 先進校の視察研修</p>
--------	---

鯉ヶ沢第一中学校との連携・協力
 県教委，西北教育事務所からの指導・助言
 学力検査の実施・分析

平成16年度	<p>テーマ 主体的に学習に取り組む子どもを育てるための指導法の研究 ～ 個に応じた算数科の指導を通して～ 研究の見通し(仮説) 算数科において，個に応じたきめ細かな指導を工夫し，基礎・基本を身につけさせ，学ぶ楽しさ，充実感を味わわせることによって，意欲が高まり，主体的に学習に取り組む子どもが育つ。</p> <p>研究内容 理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導についての研究 ア)協力的な指導のあり方について ・ ティーム・ティーチングにおけるT1，T2の役割や指導のあり方，協力体制の整備等 ・ 課題別学習や習熟度別学習，個別学習等，協力的な指導方法の工夫・改善 イ)学習過程における指導と評価の一体化について ・ 効率的で，的確な評価の方法 ・ 評価に基づいた適切な学習指導・支援のあり方について ウ)個別指導の必要な児童への指導体制の充実について ・ 授業における個別指導のあり方について ・ 学習支援センターにおける，補充的，及び，発展的な指導のあり方とその運営方法について 学ぶ楽しさを実感させ，学習意欲を高める指導についての研究 ア)学習への意欲の喚起と高揚を図る指導について ・ 学習意欲を高めるための指導法の工夫・改善 ・ 基礎・基本の確実な定着を図るための指導法の工夫・改善 イ)算数的活動や問題解決的な学習の工夫について ・ 学ぶ楽しさを味わせるとともに，学習内容の本質が理解できるような算数的活動 ・ 話し合いにより考えを深め合う授業にするための指導法 ウ)児童の自己評価や相互評価を生かした学習の工夫について ・ 自己評価，及び，相互評価の方法 ・ 自己評価，相互評価を学習に生かした学習指導法</p> <p>研究方法 校内研究における授業研究，及び，理論研究 先進校の視察研修 鯉ヶ沢第一中学校との連携・協力 県教委，西北教育事務所からの指導・助言 学力検査の実施・分析</p>
--------	---

(3) 研究推進体制



各組織の役割

- 学力向上フロンティアスクールプロジェクトチーム
- ・ 学力フロンティアスクール事業に関する総合的な企画・運営
 - ・ 事業成果の普及に関すること

研修部

- ・ 授業改善，指導法の改善に関すること
- ・ 研究の具体的な内容に関すること
- ・ 児童の学力や学習意識等に関する調査とその整理

各部ブロック

- ・ 児童の発達段階に応じた具体的な指導法の研究
全体研究会
- ・ 学力向上及び校内研究に関することの全体協議

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 協力的な指導に関することについて
- ・ T2は理解度の低い児童への指導・支援を主に行っており、特に低学力児童の学力向上に成果が見られる。また、このことにより、これまで対応が不十分になりがちだった中位以上の児童にも個別指導が行き届くようになった。
 - ・ 学習指導や児童の様子に関する話し合いが日常的に行われ、学校全体としての協同指導体制の整備に役立っている。
 - ・ 学習に関する意識調査によると、TTにより「勉強の内容がよくわかる」「わからないことなど先生に聞きやすい」と感じている児童が多い。
- 学習支援センターにおける補足的・発展的学習について
- ・ 特に、補足的な学習を必要とする低学年の児童の利用が多いが、それらの児童にとっては学習内容の理解・定着に役立っている。
- 客観的な学力把握のために1月末に実施した数研式標準学力検査結果を現在分析中である。

2. 今後の課題

- 協力的な指導に関することについて
- ・ TTの利点、特性を十分に生かしてきているとは言えず、習熟度別学習や課題別学習など、協力的な指導のあり方に関する研究、実践を更に深める必要がある。
 - ・ 児童が協同思考しながら学び合い、ともに作り上げていくという一斉指導の良さと習熟度別授業や少人数授業の良さを融合させたい。
 - ・ 児童の評価や学習計画の作成、授業の反省等、T1とT2が協議する時間の確保が必要である。
- 学習支援センターにおける補足的・発展的学習について
- ・ 一人一人の児童にあった補充学習・発展学習ができるよう、各種プリントやドリル、パソコンソフトなどの教具を充実させたい。

学力等把握のための学校としての取組

- 数研式標準学力検査
- ・ 各教科の基礎・基本の定着度を客観的に把握するため、1月下旬に全学年を対象に実施している。
- 学習に関する意識調査
- ・ 児童の学習に関する意識を把握するため、フロンティアスクール各校が実施している同調査を定期的実施する。
- 計算タイム
- ・ 児童の計算技能に関する定着度を把握するため、毎週木曜日の朝の活動で進級式の計算ドリルを行っている。
- 学習記録簿を用いた授業での評価
- ・ 評価規準に基づいた評価を、統一した本校の学習記録簿に記録している。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 鱒ヶ沢町小・中学校連携推進協議会（平成15年11月5日）
- ・ 町内小・中学校の全教員が参加する研究協議会において、本校の学力向上に関する取り組みを紹介した。
- 鱒ヶ沢町小・中学校連携推進協議会（平成16年11月9日）
- ・ 町内小・中学校の全教員が参加する研究協議会を本校において開催し、授業を公開するとともに、本校の学力向上に関する取り組みを紹介する。
- ホームページへの掲載
- ・ 学力向上に関する本校の実践をホームページに掲載し、広く公開する。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無